

申込方法	デジエントリー (PC・携帯・オペレーター)	○	事務局窓口	○
行事番号	2200421	—		

**第44回 東京都スキー技術選手権大会 兼
第60回 全日本スキー技術選手権大会出場者選考会**

主催	一般財団法人 東京都スキー連盟
主管	一般財団法人 東京都スキー連盟
協力	菅平高原観光協会・菅平スキークラブ・(株)ハーレススキーリゾート
期日	2023年 1月27日(金)～ 1月29日(日)
会場	長野県 菅平高原スノーリゾート
本部	太郎館 TEL:0268-74-2300 FAX:0268-74-2301 〒386-2204 長野県上田市菅平高原1223-6204
日程	2023年 1月27日(金) 13:00～(予定) 実行委員会 16:00～(予定) 受付 19:00～(予定) 開会式・選手会 1月28日(土) 9:00～(予定) 1日目競技開始 1月29日(日) 9:00～(予定) 2日目競技開始 15:30～(予定) 閉会式
種目	※開催要項にて発表 (本選4種目+ファイナル1種目予定)
参加資格	スキー技術SAJ1級程度以上の方(SAT・SAJ登録されていなくても参加可能です)
参加人員	350名
申込方法	【デジエントリーでの場合】 期間:2022年10月 1日(土)～2023年 1月 4日(水) ※インターネット(パソコン・携帯)でお申込みの方は、「 https://dgent.jp/sat/ 」へアクセスしてください。オペレーターでお申込みの方は、「0466-52-5448」へ掛けてください。 【窓口での場合】 期間:2022年11月 1日(火)～2023年 1月 6日(金)の午後3時まで 様 式:教-12 場 所:(一財)東京都スキー連盟事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-15 平河町小池ビル2F TEL:03-3262-2491 FAX:03-3264-6540 (休業日:日、月、祝祭日、月曜日が祝祭日の翌日。現金取り扱いは10時～15時。)
参加料	11,000円(申込後の参加料は返却いたしません)
宿泊申込	※各自で手配してください。
その他	①プログラムおよびビブは受付時に配付します。 ②個人単位で受付を行ってください。(代理人の場合は氏名を確認します) ③開会式・選手会は全員出席(ビブ着用)とします。ただし、事情のある場合に限り、代理人の出席を認めます。閉会式は該当者は必ず出席してください。 ④選手会欠席者は告知事項を公式掲示にて確認してください。 ⑤悪天候等のやむを得ない事情により、競技種目・日程等を変更する場合があります。 ⑥日程・種目・出場枠の詳細は決定次第ホームページで発表します。 ⑦今大会は第60回全日本スキー技術選手権大会出場者の選考を兼ねています。 ⑧上記大会の出場者選考結果の発表は、閉会式にて行います。 ⑨選考会の選考対象は次の各条件を全て満たす方とします。日本国籍を有する・満18才以上・2023年度本連盟およびSAJ登録会員・SAJスキー級別テスト1級以上認定 ⑩傷害保険等に必ず加入してください。行事中の事故や傷害等についての責任は負いません。 ⑪安全確保のため、全種目でヘルメット着用義務とします。 ⑫マテリアルについてはSAJ公式用品の使用を強く推奨します。

開催要項

【主催・主管】	一般財団法人 東京都スキー連盟			
【会期】	2023年1月27日(金)～1月29日(日)			
【会場】	長野県・菅平高原スノーリゾート			
【競技本部】	太郎館 (長野県上田市菅平高原1223-6204 TEL 0268-74-2300)			
【大会日程・競技種目】	※ 積雪状況・天候等により、コース・種目に変更になる場合があります。 ※ 公式掲示板 AGハウス(表太郎ゲレンデ下部) / 表太郎無料休憩所			
1月27日(金)	13:00	～	実行委員会	
	14:30	～	エントリーリスト掲示	AGハウス/表太郎無料休憩所
	15:00	～	17:00 受付(個人単位)※健康管理表提出	AGハウス
	19:00	～	20:00 受付(個人単位)※健康管理表提出	太郎館
1月28日(土)	7:30	～	8:00 受付(個人単位) ※前日受付不可選手のみ	AGハウス
	7:50	～	8:20 コースインスペクション(サイドスリップにて)	
	【本選2種目】	※同時進行		
	9:00	～	13:00 ① 総合滑降(中急斜面・ナチュラル)	Aコート(表太郎リフト側)
			② 小回り(中急斜面・不整地)	Cコート(表太郎林側)
1月29日(日)	7:50	～	8:20 コースインスペクション(サイドスリップにて)	
	【本選2種目】	※同時進行		
	9:00	～	12:00 ③ 大回り(中急斜面・ナチュラル)	Aコート(表太郎リフト側)
			④ 小回り(中急斜面・ナチュラル)	Bコート(表太郎中央)
	【決勝2種目】	※同時進行		
	13:00	～	14:00 ⑤ 総合滑降(中急斜面・ナチュラル)	Aコート(表太郎リフト側)
			⑥ 小回りリズム変化(中急斜面ナチュラル)	Bコート(表太郎中央)
	15:00	～	選考委員会	
	15:30	～	結果発表	公式掲示板・公式FACEBOOK
	16:00	～	閉会式・表彰式	菅平高原国際リゾートセンター 2F
			※表彰対象選手及び全日本出場選手のみ参加	

- 【参加資格】 ① SAJ級別テスト1級またはこれと同等以上の技術を有する者。
② 各種の傷害保険に加入済であること。(保険証券番号及び印鑑を持参すること)
③ SAT・SAJ登録されていなくても参加できる。

- 【競技方法】 ① 本選4種目、決勝2種目で競技を行う。
② 決勝の出場者は、本選の総合得点順位の男子60位タイ、女子30位タイまでとする。
③ 本選は男子4班・女子2班の6班編成とし、班内ローテーションを行う。
決勝は男子2班・女子2班の4班編成とし、班内ローテーションを行う。
④ 審判は各種目とも5審3採制(公開)とする。
⑤ 使用スキーは2台までとする。(マテリアルチェックは行わない)
⑥ 全種目ヘルメット着用義務とする。着用しない場合はスタートできない。
⑦ 全種目において着用するウェアはルーズフィットなものとしワンピース等は禁止する。
縫製・接着・テープ貼付など、ウェアに加工が認められた場合は失格となる場合がある。
⑧ 各種目の要領及びジャッジ観点については、別紙種目要領・ジャッジ観点資料内容による。
⑨ 決勝のビブは本選で使用したビブをそのまま着用すること。

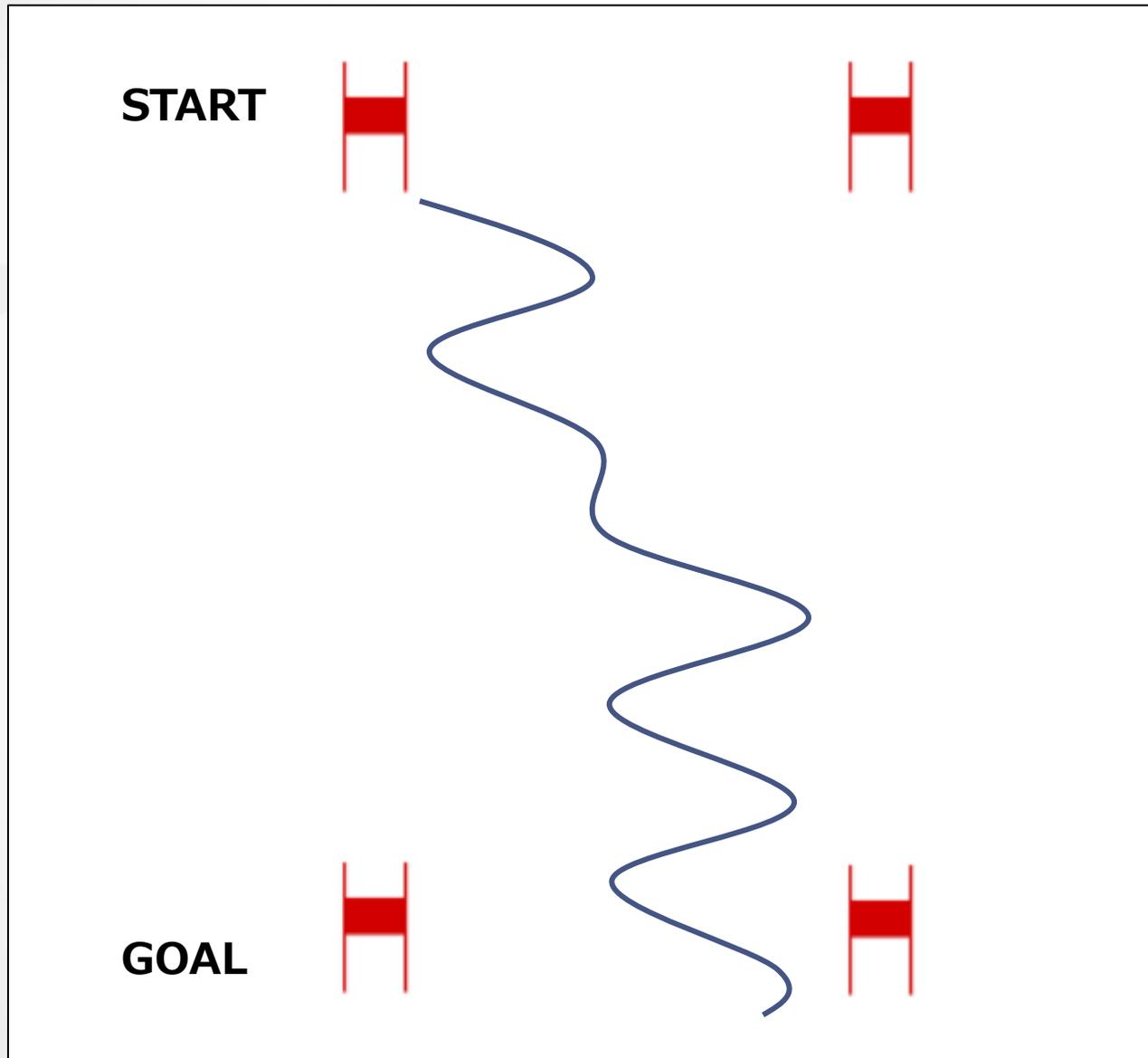
- 【順位決定】 ① 総合成績は全種目の合計得点の高い者より決定する。
② 天候等によりキャンセル種目が出た場合、2種目の終了を持って成立とする。

- 【表彰】 ① 総合成績男子10位まで、女子6位まで表彰する。
② 表彰対象者の総合得点が同点の場合、別途定める方法によって順位を決定する。

- 【選考基準】 ① 総合成績により、男子17名・女子14名・補欠(男女各1名)を当年度全日本スキー技術選手権大会出場選手として選考する。(総合得点が同点の場合は選考委員会が選考する)
② 前回全日本スキー技術選手権大会決勝出場者および選考委員会が特別に認めた者については、欠席及び種目欠場、途中棄権等により本選出場枠に入らなかった場合、選考対象とする。
③ 選考対象は次の各条件を全て満たす者とする。
A.日本国籍を有する
B.当該大会開催年度の4月1日現在で満18才以上。ただし加盟団体長が特に認めた者についてはこの限りではない。
C.2023年度本連盟およびSAJ登録会員
D.SAJスキー級別テスト1級以上認定

- 【注意事項】 ① SAT新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに基づき、出場選手は健康管理表を提出すること。
② 受付は個人単位で行う。受付時に健康管理表の提出を行い、引き換えにプログラムとビブを配布する。
③ 1月27日(金)に受付ができない選手のみ、1月28日(土)の朝に受付を行う。
④ 選手会は開催しないが、競技内容等については事前に公式FACEBOOK、公式掲示板にて掲示を行う。
質問事項は、1月27日(金)16時まで大会本部(太郎館)まで文章にて提出すること。
回答については、速やかに公式FACEBOOK、公式掲示板に掲示を行う。
⑤ 悪天候等のやむを得ない事情により、競技種目・日程等を変更する場合がある。
⑥ 行事中の事故や傷害等についての責任は負わない。傷害保険・賠償責任保険に必ず加入すること。
⑦ 大会期間・競技コート内外を問わず、参加選手は一般スキーヤーの模範となる良識ある行動に努めること。
⑧ 出場選手は、SAT新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを遵守すること。

本選1日目 (総合滑降) 表太郎



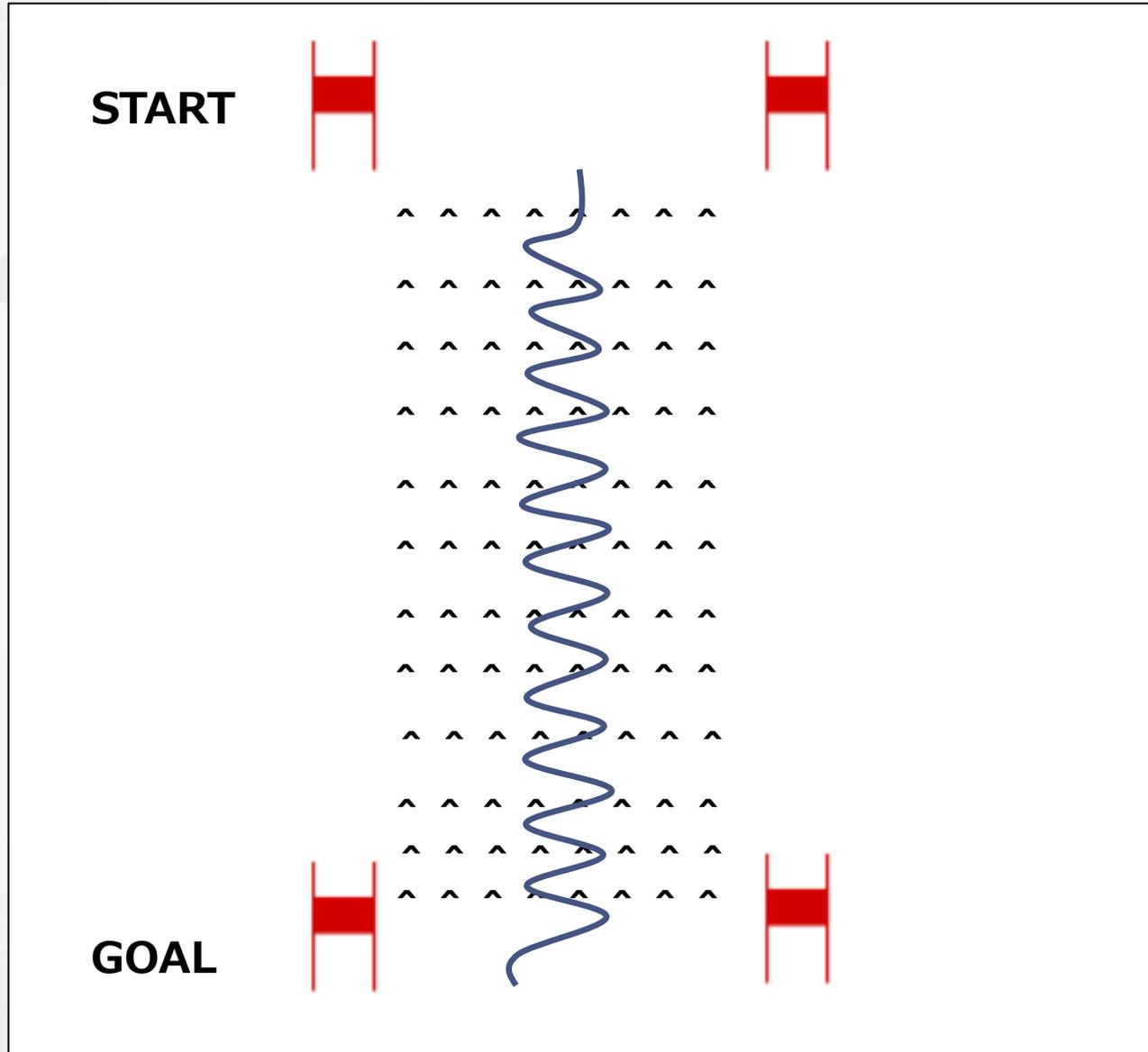
【ジャッジの観点】

- ・スピード変化への対応

【留意点】

- ・コート内の左右への移動は自由
- ・横幅のスペースは、大回りと同様
- ・選手使用用具マテリアル $R \geq 25$ 前後の回転半径をイメージし、コート全長と合わせて確定する

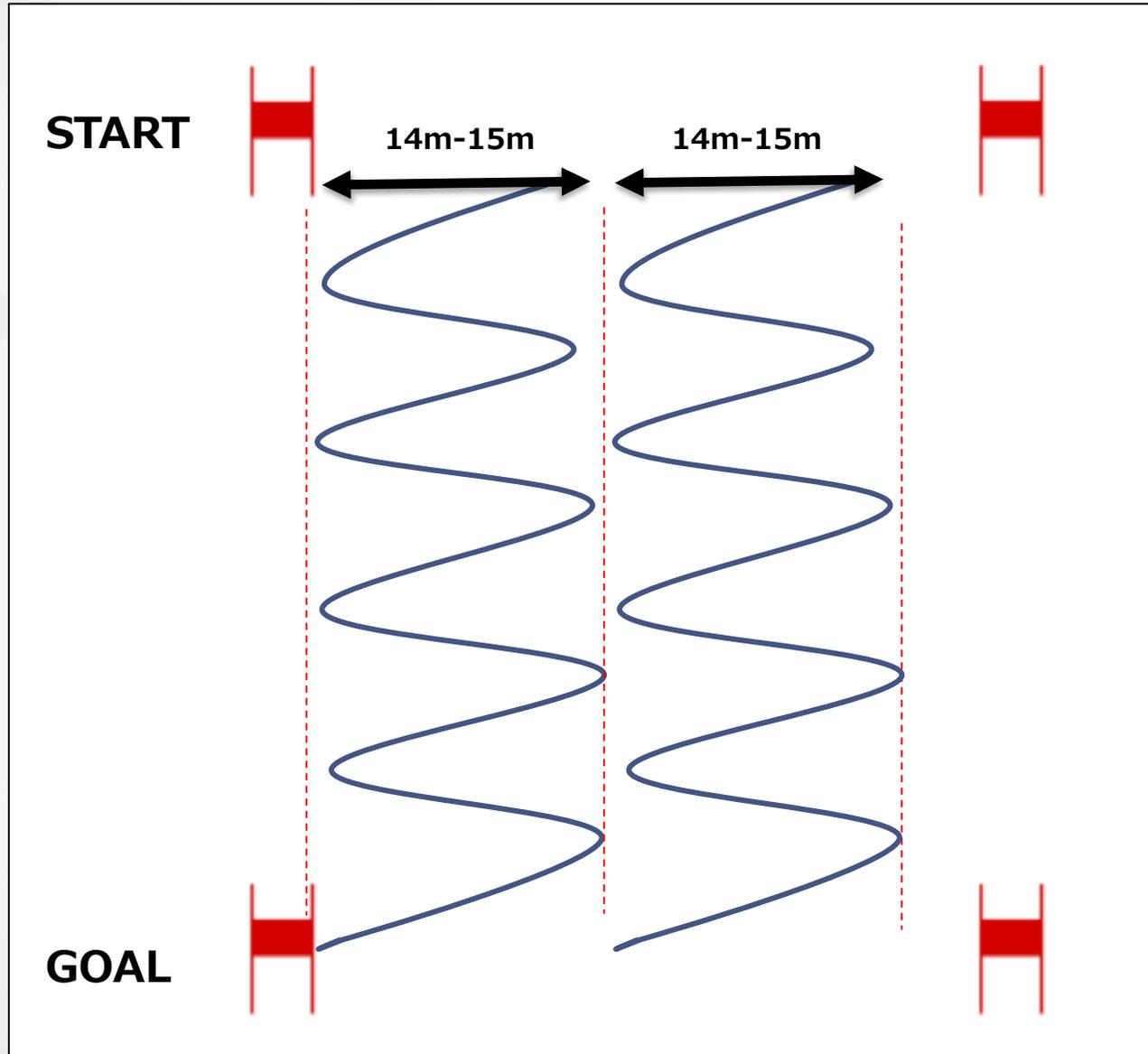
本選1日目 (小回り) 表太郎 不整地



【ジャッジの観点】

・雪面コンタクト・カービング

本選2日目 (大回り) 表太郎 -規制-



【ジャッジの観点】

- 基本動作
- スムーズな切り替え動作

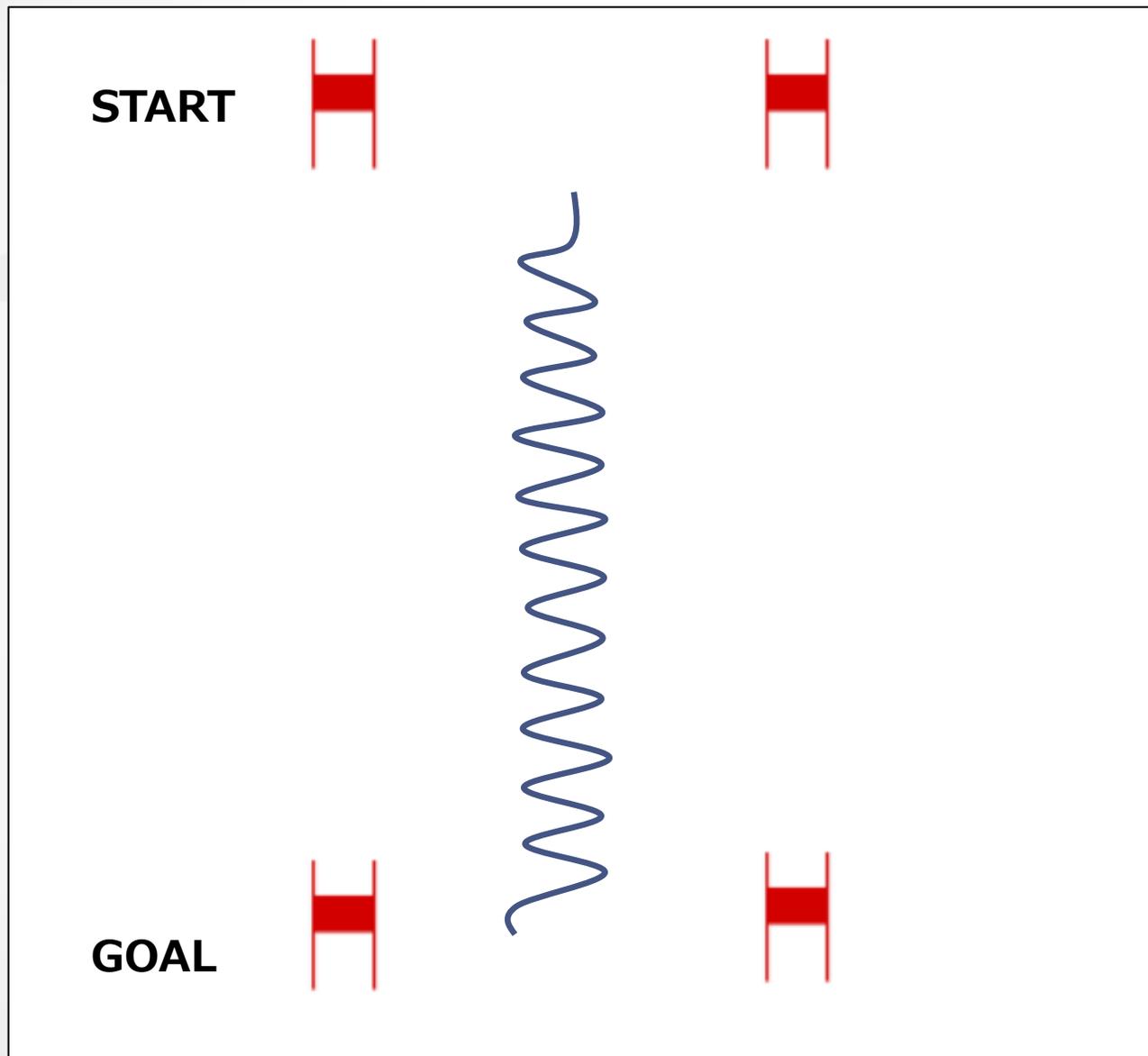
※ラインを設置

※状況により変更有

【留意点】

- 選手使用用具マテリアル $R \geq 25$ 前後の回転半径をイメージする

本選2日目 (小回り) 表太郎



【ジャッジの観点】

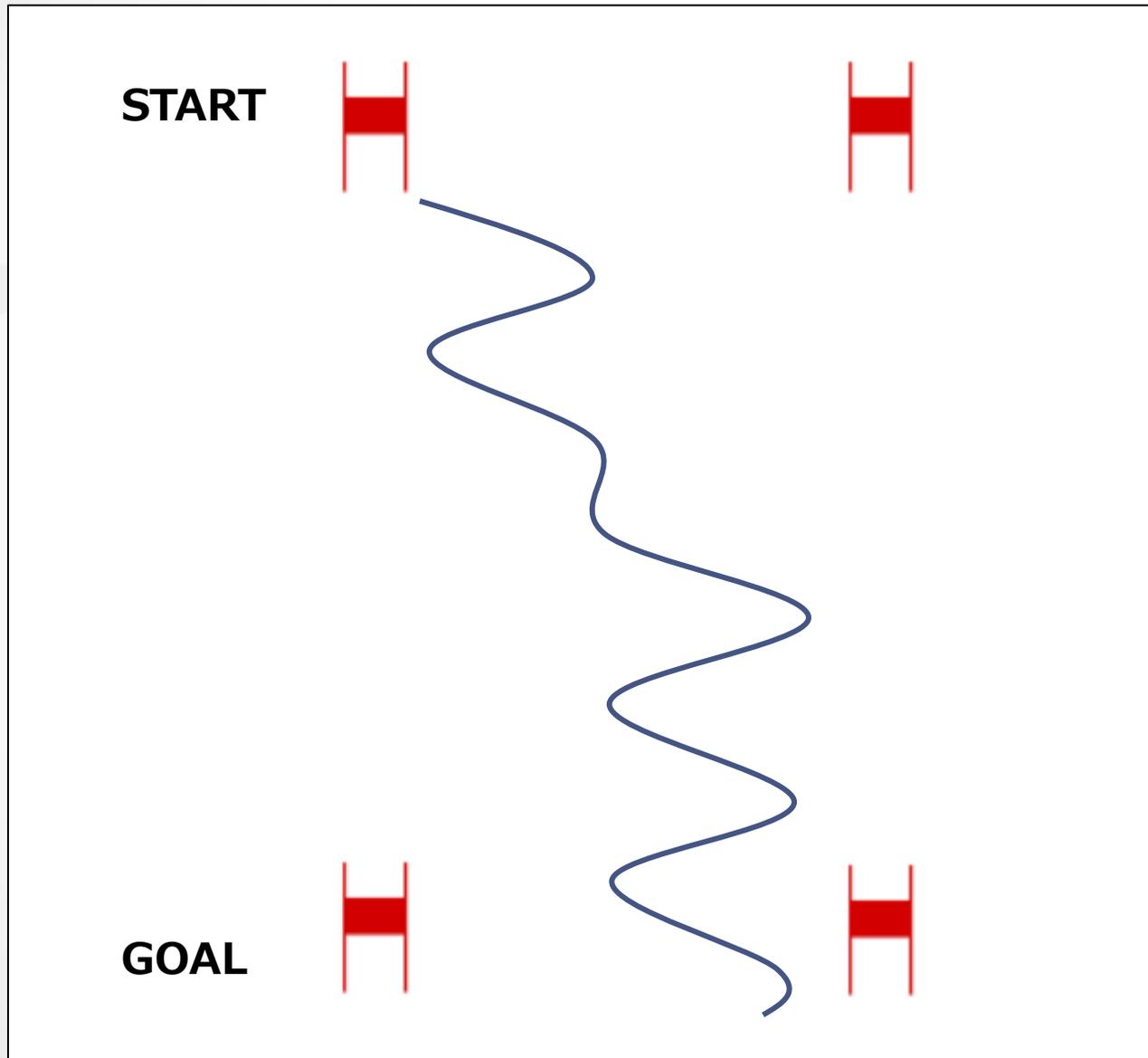
・素早い切り替え動作

【留意点】

・横幅スペース 4m-5m

決勝（総合滑降）

表太郎



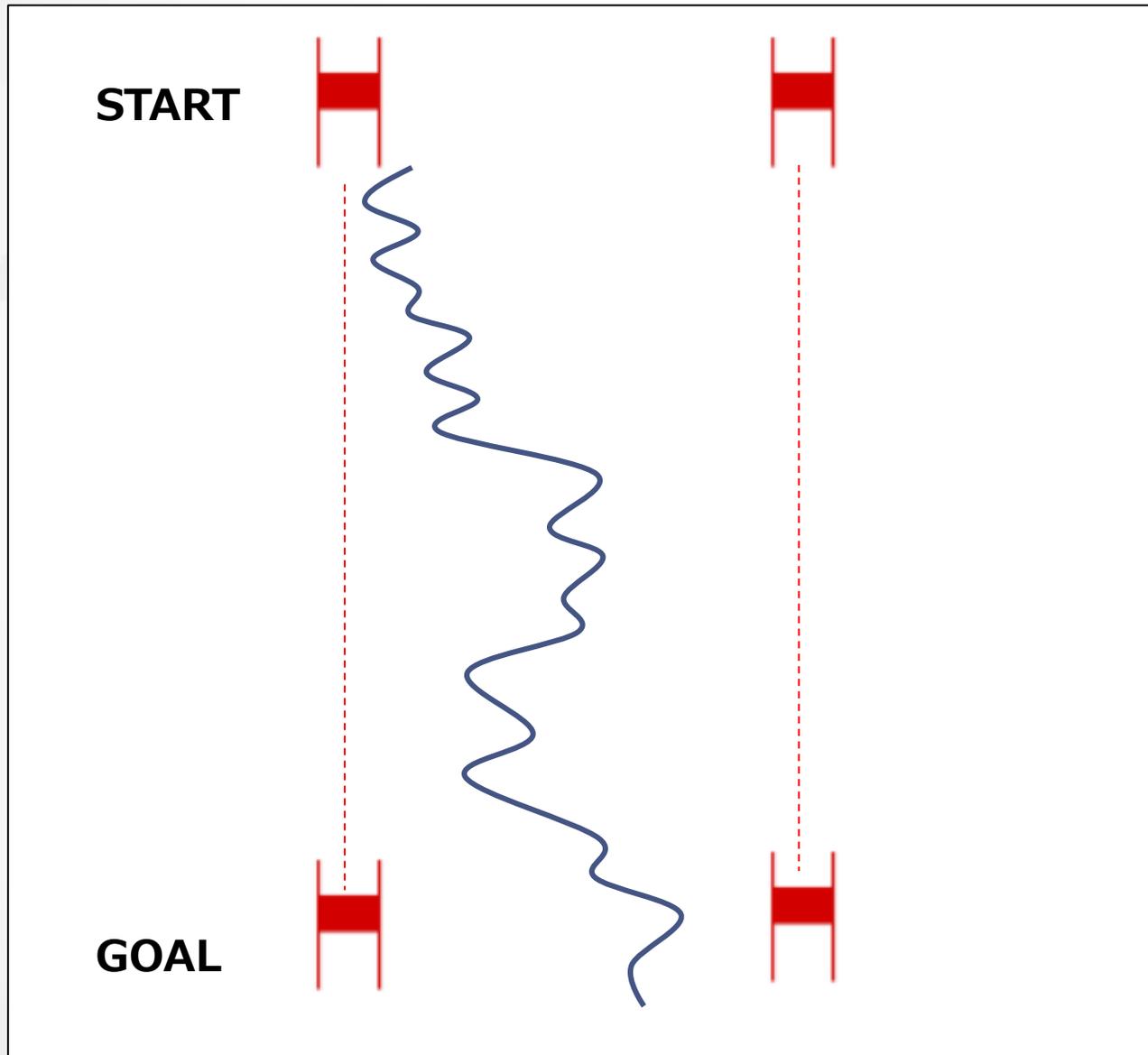
【ジャッジの観点】

- ・スピード変化への対応

【留意点】

- ・コート内の左右への移動は自由
- ・横幅のスペースは、大回りと同様
- ・選手使用用具マテリアル $R \geq 25$ 前後の回転半径をイメージし、コート全長と合わせて確定する

決勝 (小回り) 表太郎 -リズム変化-



【ジャッジの観点】

- ・スピード変化への対応(ターン左右差の有無)
- ・リズム変化への対応
- ・素早い切り替え

【留意点】

- ・アルペン競技のSLをイメージ